

令和3年度【事業者向け】放課後等デイサービス自己評価表集計

よろここデイサービス（職員7名）2022年4月4日実施

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標・工夫している点など	
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7				・事業所の指定基準である1人当たりに必要なスペース以上に確保されている。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			配置基準は満たしている。	・現在、7名のスタッフが務めており、一日6人配置で支援を行っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	2	1	2階建ての2階にあり、エレベーターが無い。子どもの目線で活動しやすい環境になっている。	・建物および設備の構造上、肢体（下肢）不自由児の受け入れができない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	6	1			・個別支援計画の立案からモニタリングまで、すべてのスタッフが関わっている。また、日々の療育内容と個別の評価等についても同様に取り組んでいる。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7			2018.9~実施 令和3年から親の会を2回開き、保護者の方のニーズを把握する場を設けている。	親の会の内容としては一回目は趣味の活動、二回目は勉強会に定着させる予定。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7			2018.9~実施	・事業所ホームページにてアンケート結果を公開。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	1	2		・現在のところは、第三者による外部評価を取り入れる予定無し。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			2018.9~実施 年3回は外部研修、他事業所見学を行った。	・事業所内研修を基本毎月開催している。また、外部研修にも積極的に参加している。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			スタッフで情報交換をしながら支援計画を作成している。	・ご本人およびご家族様のニーズに沿った計画作成を行う。また、発達検査等の客観的な検査結果をもとに、課題の把握に努める。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	1			
	⑪	活動プログラムの立案をチームでおこなっているか	7				・職員の意見を反映しながら、個々の児童の活動内容を立案している。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7			月別プログラムを企画しており、季節感を味合う。常に新鮮な体験ができるよう工夫している。	・個別の課題に対応した活動の提供に努めている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	5		2		・平日は室内や公園活動、長期休校日においては地域への外出活動など、平日の短い時間ではできない活動を多く取り入れている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				・個別の発達課題に注目して、計画立案している。
適切な支援の提供	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7				・支援開始前、ミーティングを開き前日の支援の振り返りと当日の支援内容の確認を実施している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	7				・支援の翌日に振り返りを行い、気づいた点を共有している。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7				
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	7				・半年ごとにモニタリングを行い、支援計画の見直しを判断している。
関係	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	5	2			・ガイドラインの基本活動に添って支援している。
	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	1			・児発管または担当職員が参加している。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換・子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	5	1	1		・学校での様子など、送迎時に申し送り等を行っている。必要に応じて、個別の宿題などについても確認を行っている。

機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	②②	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	3		該当者なし	・該当者なし。
	②③	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	2	3		・必要に応じて、相談支援事業所を通じて情報の共有に努めている。
	②④	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	3		該当者なし	・該当者なし。
	②⑤	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	5	1	1	担当医に放デイの状況を報告している。	・協力医療機関の担当医とケース会議や研修の受講を行っている。
	②⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4		3	公園活動で地域の児童と活動する機会がある。	・今後よろずデイケアの児童との交流を図る予定。
	②⑦	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	5	2		障がい児通所支援事業所連絡会に参加。	
	②⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	7			送迎時やメッセージアプリを利用して情報交換をしている。	・LINE連絡帳や日々の送迎時を利用して、情報の共有に努めている。
	②⑨	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	5	1	1	事業所内相談支援を行っている。	・必要に応じて、事業所内相談支援を実施している。
	③⑩	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				・利用契約時に丁寧に説明を行う。
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				・可能な限り、相談に応じるように努めている。適切に対応出来るよう、スタッフのスキル向上に努めている。
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7			令和3年度は6月に交流会、11月に講演会を行った。	・年2回「親の会」を実施している。
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				・苦情受付窓口を設置しており、苦情等に対しては誠意をもって対応させて頂く。
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	7			よろこばよりを定期的に発行している。	
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	7			ブログの写真は顔を隠している。	・ブログでは、児童の顔が特定できないように配慮している。また、個人情報の取扱いに関しても注意している。
	③⑯	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				・視覚的な支援など、分かりやすく伝えるための構造化に努めている。
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	1	3	3	ダンス講師を招き活動を行う。	・自然観察体験、折り紙、プラモ作り等のボランティア・外部講師を招き活動している。
非 常 時 等 の 対 応	④⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	6		1		・緊急時対応マニュアルの作成が必要。保護者向きのマニュアルも作成する予定である。
	④⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7			年度内に2回(7月・12月)実施。	
	④⑳	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7			事業所内研修を実施。	・行政機関が主催する研修への参加を予定している。
	④㉑	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7				・対象者なし。
	④㉒	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	6	1		対象者なし。	・対象者なし。
④㉓	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7				・共有している。	